



虐待は 大人になつて 終わりにじゃない

児童虐待を経験した若者たちは、大人になっても生きづらさを抱えている。今も苦しみや痛みと向き合いながら生きる若者たちのリアルに迫ったドキュメンタリー。監督は、自身も児童養護施設で育ち、現在はボランティア団体の代表として生きる山本昌子。北海道から沖縄まで、総勢 40 名を超える若者たちの“REAL VOICE”。

REAL VOICE

児童虐待を経験した若者達のドキュメンタリー

9/2024
14 sat

参加無料・事前申込制



左記の QR コード
または、里親支援
センターけやきの
HP からお申込下
さい。(締切 9/11)

open 12:30 start 13:00 close 16:00

- 仙台市子育てふれあいプラザ「のびすく泉中央ホール」
(仙台市泉区泉中央 1 丁目 8-6 仙台市泉図書館 4 階 TEL022-772-7340)
- 第 1 部 ドキュメンタリー映画『REAL VOICE』上映 (作品 87 分)
第 2 部 トークセッション『映画監督 × 仙台の若者当事者』(60 分)

出演：山本昌子さん (上映作品監督、ACHA プロジェクト代表)
里親家庭で育った仙台の若者当事者 (1~2 名)
司会：大久保悠さん (東北放送アナウンサー)



虐待問題、社会的養護・里親制度等に関心のある方は、どなたでもご参加頂けます。

- 【主催】 みやぎ里親支援センターけやき 【共催】 宮城県なごみの会 (宮城県里親会)、仙台市ほほえみの会 (仙台市里親会)
- 【後援】 宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、一般財団法人仙台こども財団、河北新報社、tbc東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、kfb東日本放送、NHK 仙台放送局、Date fm、大人の情報誌りらく、仙台リビング新聞社
- 【協力】 宮城県社会福祉協議会、仙台市社会福祉協議会、尚綱学院大学、宮城県児童養護施設協議会、仙台市児童養護施設協議会 (宮城県済生会みやぎ乳児院、丘の家乳幼児ホーム、丘の家子どもホーム、ラ・サール・ホーム、小百合園、仙台天使園、旭が丘学園)



山本 昌子

映画監督
ACHAプロジェクト代表

●主催者 VOICE

児童相談所に寄せられる虐待相談件数は、全国で年間20万件以上。これは、平成11年の約18倍にも上ります。また、児童養護施設や里親家庭で暮らす子どもたちの6割程度が、被虐待を経験していると言われています。これは、私たちの暮らす街、宮城県、仙台市も同じことです。

私たち大人がこうした子どもたちの自立と人生を考えると、その当事者の声を聴き、まずはしっかりと受け止めることが何よりも大切なのではないのでしょうか。

本企画は、映画上映を通して、多くの当事者のリアルボイスに、広く一般市民の方々と共に耳を傾け、気持ちを寄せ合い、里親制度への理解と普及促進をはじめとした、より良い共生社会への一歩にと企画いたしました。ぜひ、ご参加下さい。



生後4か月から乳児院、児童養護施設、自立援助ホームで育つ。現在は、児童養護施設出身者へ振袖を着る機会を提供し、「生まれて来てくれてありがとう」を伝えるボランティア団体の代表として活躍。コロナ禍をきっかけに全国の社会的養護出身者とオンラインで繋がり、食品や洋服の支援を行う中で、児童虐待の苦しみと今も戦い続けている若者たちがあまりにも多いことに気付く…



●出演者 VOICE

「死にたいけど、生きたい」
そんな思いがどういうことなのか知って欲しいと思い
出演することを決めました。
(高知県出身 / 児童養護施設経験者)

虐待は
大人になつて
終わりじゃない

時間とともに「忘れる」ということを知って欲しいです。過去のことじゃないです。ずっと苦しみました。ですが、沢山の方々の助けがあったからこそ、私はここまで生きてこれました。私たちは今日を必死で生きています。
(香川県出身 / 一時保護所経験者)

過去に虐待を受けて、
親にいい顔して救ってくれなかった人。
今は当時恨んでいたその児童福祉司を
目指しています。
今もまだ内心親を許していません。
だからこそ、
18歳を超えた元保護児童の声を
知って欲しいです。
(大分県出身 / 里親家庭経験者)



REAL VOICE

オフィシャルサイト

●応援 VOICE

「だいじょうぶこの世界は愛にあふれている」
そうやって、背中に手を添えてくれる
仲間がいるんだということを、まこちゃん
たんたんとして実行して教えてくれる。
あなたがいてくれてよかった、ありがとう
(歌手 一青窈さん / 楽曲提供「耳をすます」)

彼女にしか出会えない
言葉があります。
新しく挑む背中を
見守っています。
あなたらしく貫いてね。
(俳優・タレント / サヘル・ローズさん)

私の歌で「この手に抱きしめたい」という歌を
この映画の制作にプレゼントしているんですね。
この映画のテーマとしてぜひ皆さんに
聞いていただきたいと思っています。
(歌手 加藤登紀子さん
楽曲提供「この手に抱きしめたい」)